

# 第 I 章 第 4 期 石川の教育振興基本計画

## 第4期 石川の教育振興基本計画

### 1 基本理念

## 未来を拓く 心豊かな人づくり

少子高齢化の進行、長寿化による人生100年時代の到来、グローバル化やデジタル化の進展、価値観やライフスタイルの多様化など、社会は急激に変化しています。こうした教育を取り巻く環境の大きな変化の中にあって、本県の文化や伝統を大切にしながら、将来の予測が困難な新しい時代をたくましく生きる力を身に付けることが重要です。

このため、生涯にわたる学習やスポーツ・文化活動により、心身ともに健やかで、心豊かな人づくりを目指すとともに、一人一人の個性や適性に応じたきめ細かな教育を推し進め、基礎的・基本的な知識・技能はもとより、自ら学び、課題を見つけ、解決できる力を身に付けた、未来を切り拓こうとする気概あふれる積極果敢な人づくりを目指します。

### 2 めざす人間像

#### ふるさとに誇りを持ち、広い視野に立って社会に貢献する人間

将来の予測が困難な時代において、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手として社会を維持・発展させていくことが求められています。

また、国と地方が総力をあげて「地方創生」に取り組む今日、自らの住む地域の伝統や文化を大切に、住みよいまちづくりに積極的にかかわることも重要です。

このため、自らの住むふるさとの自然や歴史・伝統・文化に学び、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持つとともに、それらを通して日本人としての自覚を深め、広い視野に立って活躍できる人間であることが求められます。

#### 生涯学び続ける意欲に満ち、確かな学力を身に付け、個性や創造性に富む人間

グローバル化やDXの進展などにより、これからの社会では、AIやロボットによる代替が困難な新しいものを創り出す力や、他者と協働しチームで問題を解決するといった能力が一層求められています。

また、人生100年時代を見据え、一人一人の学ぶ時期や進路が複線化する人生のマルチステージモデルへと転換することが予測されており、社会人の学び直し（リカレント教育）をはじめとした生涯にわたる学びの重要性が高まっています。

このため、生涯学び続ける意欲に満ち、基礎的・基本的な能力を培いながら、自ら学び、自ら考え、それらを総合し、主体的に判断する力を身に付けることを基盤として、自らの資質を生かし、個性や創造性を更に伸ばすことのできる人間であることが求められます。

#### 責任とモラルを重んじ、人を思いやる心豊かな人間

社会の多様化が進む中、障害の有無や年齢、文化的・言語的背景、家庭環境などにかかわらず、誰一人取り残されることなく、多様な背景・事情・特性等を有する人々がお互いを尊重し、支え合って共に生きていく社会の実現を目指すことが求められています。

また、持続可能な社会の創り手として、自らが社会を形成する一員であり、合意形成を経て自らルールや仕組みを作ることができる存在であるという認識を持つことが重要です。

このため、社会のルールやモラルを重んじつつ、自らの課題の解決に向け積極果敢に行動し、その結果に責任を持つとともに、互いに相手を理解し、敬意と思いやりをもって接することのできる自律的で心豊かな人間であることが求められます。

### 健康や体力の増進に努める、活力ある人間

充実した人生を送るためには、心と身体がともに健康であることが重要です。少子高齢化、核家族化、環境問題の深刻化などが一層進んでおり、また、人々の生活様式も多様化していることから、一人一人が自分の健康や体力を管理し、その保持増進に努める必要があります。

このため、健康に配慮した生活習慣を身に付け、運動やスポーツに積極的に取り組むとともに、安全で快適な生活環境づくりを進める人間であることが求められます。

## 3 基本目標

基本理念を実現するため、次の 9 つの基本目標を掲げ、施策を展開します。

### 基本目標1 災害からの復旧復興に向けて、創造的復興教育に取り組みます

令和 6 年に能登半島を襲った大災害、そこからの復旧・復興への道のりは相当の困難が伴いますが、単に被災前の姿に復元するのではなく、元々あった課題を踏まえ、未来志向に立って以前よりも良い状態へと持っていくという「創造的復興」に取り組むことが必要です。

創造的復興にあたっては、未来を担う子供たちが大きな希望になることから、誰一人取り残されない学びの機会を提供するとともに、地域住民等の多様な主体と協働し、予測困難な社会の中でも自ら学び行動できる力を養い、ふるさとに誇りを持った、復興を担う人材を育成します。

また、本計画の他の基本目標で掲げられている内容についても、「創造的復興教育」という観点で位置づけて、その実現を目指します。

### 基本目標2 いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献できる人材を育成します

ふるさと石川の伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心を持って、石川の魅力を広く伝えることができる力を養うとともに、地元の企業や大学等と連携した取組を通して、独創性を持って新たな価値を創造する力やチャレンジ精神、幅広い視野でグローバル化に対応できる力を身に付け、ものづくりや観光など地域産業をはじめとする社会の様々な分野を牽引し、地域の活性化に貢献できる人材を育成します。

### 基本目標3 確かな学力や専門的な能力、職業実践力を育成します

基礎的・基本的な知識・技能はもとより、思考力・判断力・表現力や自ら課題を発見し、主体的に解決する力を含めた確かな学力を身に付けられるようにするとともに、教育DXの推進による学びの質の向上を図ります。

また、キャリア教育や時代のニーズに応じた職業教育、幼児教育の充実を図り、子供たちが社会的に自立して生きていくための基礎となる力や創造性を育みます。

**基本目標4 豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくりを推進します**

生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断といった規範意識を養うため、道徳教育を充実するとともに、いじめやインターネットにかかる問題などに対し、チーム学校で解決に取り組む体制づくりを促進します。

また、体験活動、文化・芸術活動を通して豊かな情操を育むとともに、健康づくりや体力づくりを推進するほか、子供たちの安全・安心の確保に取り組むなど、心身ともに健全な子供たちの育成を図ります。

**基本目標5 誰一人取り残されない多様な教育ニーズへの対応を推進します**

障害や不登校、日本語能力、特異な才能、複合的な困難等の多様なニーズを有する子供たちに対し、一人一人に最適な学びの機会を確保するとともに、子供の能力や可能性を最大限に伸ばす教育を実現し、多様な学習形態に対応できる教育環境の整備や、学校の特色を生かした取組を通して、子供たちや保護者に信頼され、質の高い教育を提供できる学校づくりを推進します。

**基本目標6 信頼される質の高い学校づくりを推進するとともに、地域の教育力の向上を目指します**

教員の大量退職・大量採用による急激な世代交代を踏まえ、即戦力となる優秀な人材の確保と教員の指導力や専門性の向上を図るとともに、学校が抱える教育課題が複雑化・困難化する中、長時間勤務が大きな課題となっている教職員の多忙化改善に向けた取組を進め、学校の組織的な課題対応力の強化を図ります。

また、全ての教育の出発点である家庭の教育力の向上を図るため、家庭教育相談体制の充実や、学校と地域の人々・団体などが連携して家庭教育を支援する体制づくりを進めるとともに、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を通じて、学校と地域の人々との交流を深め、地域の教育力の向上を図るなど、学校・家庭・地域が連携・協力した社会全体での教育力向上に向けた取組を推進します。

**基本目標7 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力向上を推進します**

大学コンソーシアム石川の活動を支援し、「学都石川」として県内全ての高等教育機関の魅力づくりと発信を推進します。

また、地域の活性化に向けて、高等教育機関と地域が一体となった取組を推進するとともに、地域の課題解決に主体的に向き合うことができる人材や、グローバルな感覚を持ち、国際的に活躍することができる次世代の石川の担い手を育成します。

**基本目標8 生涯にわたり学び続ける環境づくりを推進します**

子供や若者、社会人、高齢者、障害者など、誰もが年齢を問わず学び続け、その成果を社会で活かし、自己充実感を持って幸福に生きていくことができる社会の実現に向け、学び手の多様なニーズや時代の変化に対応した学習機会や情報を提供するとともに、生涯学習関連施設の機能の充実を図ります。

**基本目標9 ライフステージに応じたスポーツ活動を充実します**

県民の誰もが生涯にわたり気軽にスポーツに親しむことができるよう地域のスポーツ活動の支援やイベント等を充実するとともにスポーツ施設の充実など環境整備に努めます。

また、国際大会等で活躍できるアスリートの育成や専門的な指導者の養成等による競技力の向上に取り組むほか、スポーツを通じた交流人口の拡大や東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーの活用等、スポーツを通じた地域活性化に取り組みます。